

きらめ
～煌く海、瞳輝く、実りのまち～

しようどしま



町広報

企画・編集/小豆島町企画財政課

2016年4月1日発行

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL0879-75-1800 FAX0879-75-1500
http://www.town.shodoshima.lg.jp/ E-mail olive-kikaku@town.shodoshima.lg.jp

No.121

4
月号

「小豆島中央病院が 開院します」

～小豆島中央病院竣工式&内覧会～

- 平成28年度施政方針 …………… P2
- 平成28年度から
軽自動車税の税率が変更になります … P4
- 町長の「八日目の蟬」記 セレクション … P6
- 小豆島町で活動する
「小豆島町地域おこし協力隊」 …………… P7
- 子どもの健康相談室 …………… P10
- 統合高校情報室 …………… P13
- オリーブ栽培ごよみ …………… P14
- まちのわだい …………… P18
- 暮らしの情報・英語で小豆島を紹介しよう! … P19
- 暮らしのカレンダー …………… P21
- 小豆島を元気に！私の提言 …………… P22



平成28年度 施政方針

— 小豆島を21世紀の「希望の島」に — 日本と世界の「希望の島」に —

平成28年第1回定例町議会が2月25日から3月16日まで開催され、2月25日の定例会冒頭で、塩田町長が町政運営に対する基本姿勢となる平成28年度施政に関する所信を表明しました。

今月号では、施政方針の概要をご紹介します。
なお、施政方針の全文は、別冊保存版として本紙に折り込んでいますので、ぜひ、お読みください。

(はじめに)

小豆島町が誕生して10年となります。私は、小豆島町になってよかったと実感しています。この10年、課題は山積していましたが、ひとつひとつの課題に向き合い、一歩一歩ではありませんが、着実に前進することができているように思います。

島がひとつになって取り組むべき課題についても、少しですが、展望が開けようとしているように思います。

今年、小豆島町と小豆島にとって大切な年です。もちろん毎年、どの年も大切なのですが、今年はとりわけ大切な年になるように思います。なぜなら、人口減少をはじめ大きな課題を

抱える小豆島が、今年、課題を克服する一歩を記すことができる年になると考えるからです。



小豆島がこれから発展していく基盤になる
小豆島中央病院

第一に、小豆島中央病院が4月にオープンします。何もしないでいたら、内海病院も、土庄中央病院も成り立たないようになり、小

豆島から二次医療を担う病院がなくなっていたと思います。新しい病院は、小豆島の医療を確保する上で重要だけでなく、小豆島がこれから発展していく基盤になるものです。医療があつて、いろいろな可能性が開けてくるはずで、島民みんなの力で新しい病院を成功させたいと思います。

第二に、来年4月に開校する小豆島中央高校の準備を進めるのが今年です。島の未来を担う若者が逞しく育つ高校であつてほしいです。小豆島高校が、春の全国選抜高校野球大会に初めて出場することは、新しい高校の可能性を示唆しています。今年、高校だけでなく、小豆島の教育のこれからについて、大いに議論をして方向づけをしたいと思えます。

第三に、3月20日から三回目の瀬戸内国際芸術祭が開催されます。芸術祭は、小豆島の魅力と可能性を私たちに気づかせてくれ、小豆島の魅力と可能性を日本と世界に発信する、大切な機会になるはずで、

第四に、病院と高校のオープン、芸術祭の開催などにあわせて、小豆島のバスの運賃、路線などが刷新さ

れます。公共交通の見直しは、小豆島の可能性を引き出してくれるはずで、私にとって、ふるさとの小豆島に戻り、今年7年目となります。小豆島を元気にしたいとの私の思いは、まだ道半ばです。

先般発表された国勢調査の速報値では、この5年間で、小豆島の人口減少のスピードが変わつておらず、小豆島町は県内の自治体のなかで最も人口減少率が高いものでした。

これを見る限り、小豆島の危機は何も改善されていないともいえます。しかし、ここ数年、移住者、特に若い移住者が多いという、明るい兆しも見えていると思えます。

昨年10月に「地方創生」に関連して、将来の人口ビジョンをまとめました。今後とも毎年人口の1%にあたる100人ほどの移住者が続くと仮定すると、2060年でも、人口は1万人をキープし、何よりも人口構成のバランスが維持され、高齢化が今くらいに抑えられることがわかりました。

人口が減少することにより、さまざまな弊害が生まれますが、人口ビジョンの通り、人口減少のスピード

を少し緩和できれば、小豆島の魅力と可能性を守り、磨き、活かしていけるだろうと思います。小豆島のことからは、自分たちのことは自分たちの知恵と力で解決するという強い意思をもつて、正しい政策、施策を着実に、地道にやっつけていきさえすれば、可能性に満ちたものだと私は確信しています。

(健康づくり)

小豆島の最大の課題のひとつは、二つの公立病院の医師不足の解消と経営赤字の改善でした。小豆島の人口規模では、二つの病院を一つにし、医師をここに集中し、経営を改善することが不可欠です。

幸い、島民の皆さんの合意が得られ、また香川県、香川大学などが全面的に応援していただき、この4月から小豆島中央病院がスタートします。

新しい病院は、小豆島の医療提供の中心であるだけでなく、小豆島全体の「地域包括ケア」を実現する中心になつてほしいと思えます。「地域包括ケア」とは、高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して暮らしていくためのすべての施策を総

括するものです。健康づくり、介護サービス、在宅医療、住まい、高齢者が活躍できる場づくりなどすべてを含むものです。

(子育て・人づくり)

小豆島は、子育てと人づくり、そして文化の面で、「希望の島」であってほしいと思います。その意味では、小豆島高校野球部が「21世紀枠」出場校に選ばれ、春の全国選抜高校野球大会に初めて出場することは、画期的なことだと思います。



甲子園初出場を決めた小豆島高校野球部

小豆島町のこれからの教育のあり方については、昨年から設置された小豆島町総合教育会議を中心に、町民をはじめ、広く内外の皆

さんの意見をいただきながら議論し、ひとつひとつの課題を解決していきたいと考えています。

(産業づくり)

来年度は、小豆島の産業の活性化に向けて、島の内外の有識者の知恵と力も借りて、民間の事業者の皆さんと、活性化策を本格的に検討し、「商工業振興計画」を策定し、実行していこうと考えています。

地元の産業関係者だけでなく、小豆島出身の世界で活躍されている企業家をはじめ、さまざまな経験と識見を持つ皆さんの知恵と力を結集します。若く企業家精神にあふれた人材の登場と活躍を期待しています。

(農業の再生と復権)

農業をはじめとする一次産業の再生と復権は、「地方創生」の本質的な課題ではないかと思っています。

高齢化の進展は、医療費や介護費を増大させ、社会保障を持続することが難しくなっています。アクティブな高齢者が一次産業分野で活躍できるようにすれば、高齢者の生きがい、健康づくりにもなり、一次産業の再生と復権にもつなが

ります。どうしたらそれが可能になるか真剣に検討し、取り組んでいきたいと思えます。

(文化・アート総合戦略)

今年、瀬戸内国際芸術祭2016が開催されます。今年度の芸術祭では、小豆島町全域でアートが展開されます。今回の取組みは、「小豆島町未来プロジェクト」と名付けられています。

小豆島町が目指す未来とは、こどもたちが輝き、地域社会で人々が助けあい、豊かで多様な地場産業もある、持続可能な社会の姿です。芸術祭が、そのきっかけになると私は考えています。

小豆島には、素晴らしい自然、文化、伝統、産業が残されています。例えば、江戸時代に始まった醤油づくりや石の文化は、日本遺産や世界遺産としての価値があると私は考えています。

(交通の復権)

島内の交通については、自家用車が普及する一方、公共交通であるバスの運賃が高くなり、乗客が減るという悪循環に陥っています。幸い小豆島中央病院の開設、小豆島中央高校の開

校を機会に、運賃の大幅値下げ、路線の再編など、公共交通の抜本的な見直しについて、島民の皆さんの合意が得られ、3月20日の瀬戸芸の開会に合わせて、実行に移されることになっています。



運賃や路線など公共交通の抜本的な見直しが行われます

(国際交流・移住)

小豆島が元気になっていく上で、新たな視点、新たな発想、新たな力も不可欠です。国際交流や移住者の皆さんが、小豆島の魅力と可能性を拓いてくれると思っています。

移住者の提案と行動から空き家・空き地プロジェクトが始まりました。NPO法人トツティが設立され、空き家バンクサポート、空き地バンクの運営、体験移住の家運営など、移住者支援のさまざまな取組みが行われます。

(防災対策、人権問題、社会資本整備)

漁港・港湾の高潮・津波対策、住まいの耐震改修、避難路の整備など、ハード面での対策に加え、地域防災訓練の実施や災害物資の備蓄などソフト面の充実も行い、大規模災害への備えを万全にしたいと考えています。

あらゆる人権問題を解決していく上で、同和問題の早期解決や男女共同参画の実現は、とても大切なテーマです。「男女共同参画基本計画」をつくり、各種の講演会や交流事業を実施するなど、人権啓発を強力に進めていきます。

～平成28年度から軽自動車税の税率が変更になります～

地方税法の改正により、原動機付自転車および二輪車、軽自動車の一部車両の税率が変更になります。

***原動機付自転車および二輪車（登録されているすべての車両です）**

区 分		税率（年額）	
		平成27年度	平成28年度
原動機付 自 転 車	第一種 50cc以下	1,000円	2,000円
	第二種（乙） 90cc以下	1,200円	2,000円
	第二種（甲） 125cc以下	1,600円	2,400円
	ミニカー	2,500円	3,700円
小型特殊 自 動 車	農耕作業用自動車	1,600円	2,400円
	その他（フォークリフト等）	4,700円	5,900円
二 輪 車	軽二輪車 125cc～250cc	2,400円	3,600円
	小型二輪車 250cc以上	4,000円	6,000円



***四輪以上および三輪の軽自動車**

区 分		税率（年額）				
初度登録年月 （車検証をご確認ください）		平成27年 3月31日以前	平成27年 4月1日以降	登録から 13年経過（注）		
軽 自 動 車	三 輪 車		3,100円	3,900円	4,600円	
	四輪以上	乗 用	営業用	5,500円	6,900円	8,200円
			自家用	7,200円	10,800円	12,900円
	四輪以上	貨物用	営業用	3,000円	3,800円	4,500円
			自家用	4,000円	5,000円	6,000円



注）13年経過（重課）の税率が適用される年度について

初度検査年月	13年経過の税率が適用される年度
平成14年12月まで	平成28年度から
平成15年1月から平成16年3月まで	平成29年度から
平成16年4月から平成17年3月まで	平成30年度から
～	～
平成27年4月から平成28年3月まで	平成41年度から

***グリーン化特例（軽課）対象車両（平成27年4月以降に新規登録の一部車両が対象です）**

車 種 区 分		税率（年税額）				
		①	②	③		
軽 自 動 車	三 輪 車		1,000円	2,000円	3,000円	
	四輪以上	乗 用	営業用	1,800円	3,500円	5,200円
			自家用	2,700円	5,400円	8,100円
	四輪以上	貨物用	営業用	1,000円	1,900円	2,900円
			自家用	1,300円	2,500円	3,800円



- ①電気自動車・天然ガス軽自動車（平成21年排出ガス10%低減）
- ②乗 用：平成17年度排出ガス基準75%低減達成かつ平成32年度燃費基準+20%達成車
貨物用：平成17年度排出ガス基準75%低減達成かつ平成27年度燃費基準+35%達成車
- ③乗 用：平成17年度排出ガス基準75%低減達成かつ平成32年度燃費基準達成車
貨物用：平成17年度排出ガス基準75%低減達成かつ平成27年度燃費基準+15%達成車

廃車・名義変更の手続きをお願いします

軽自動車税は、毎年4月1日現在で車両登録をされている方に課税されます。

そのため、4月2日以降に廃車や名義変更等の手続きをされましても、その年度分の税金は納めていただくこととなりますのでご注意ください。

また、車両をご自身で廃棄処分されたり、他の方に譲渡をされても廃車や名義変更の手続きをされなかった場合は登録が残り、税金がかかりますのでご注意ください。

○各車両の手続き先は以下のとおりです。

区 分		手続き場所	必要なもの			
原動機付 自 転 車	第一種 50cc以下	税務課 安田甲144番地90 ☎82-7003 池田窓口センター 池田2100番地4 ☎75-0555	廃 車	名義変更		
	第二種(乙) 90cc以下			①ナンバープレート (紛失の場合は、紛失届の提出 が必要です。)	①新所有者の印鑑	
	第二種(甲) 125cc以下		②所有者の印鑑	②旧所有者の印鑑 (譲渡・販売の場合・譲渡・販 売証明書へ押印・記入の必要 があります。)		
	ミニカー		③車体番号の分かる書類 (自賠責保険証・標識交付証明 書等)	③車体番号の分かる書類 (自賠責保険証・標識交付証明 書等)		
小型特殊 自 動 車	農耕作業用自動車 その他(フォークリフト等)		※手数料は無料です			
二 輪 車	軽二輪車 125cc~250cc	香川運輸支局 高松市鬼無町字佐藤20番地1 ☎050-5540-2075	それぞれの手続きの場所へ お問い合わせください。 			
	小型二輪車 250cc以上					
三 輪 車		軽自動車検査協会 高松市国分寺町福家 甲1258番地18 ☎050-3816-3122				
四輪以上	乗 用				営業用	
	貨 物		営業用			
			自家用			

平成28・29年度後期高齢者医療保険料の納付について

【保険料について】

問い合わせ先 税務課 ☎82-7003

○平成28・29年度の保険料率を決定しました

後期高齢者保険料は、2年ごとに見直しを行います。平成28・29年度の保険料率については、医療給付費の増加等を踏まえて、次のとおり決定しました。

区 分	平成26・27年度	平成28・29年度	増加額(率)
均 等 割 額	47,200円	47,300円	100円
所 得 割 率	8.81%	9.26%	0.45%



○保険料額の通知について

保険料額は、7月中旬に送付する保険料額決定通知書でお知らせします。

○均等割額軽減の基準の変更について

平成28年4月1日以降の均等割額の軽減基準は次のとおりです。

軽減割合	総所得金額等の合計額が下記に該当する世帯
9割	33万円以下で被保険者全員が年金収入80万円以下(その他所得がない場合)
8.5割	33万円以下で9割軽減に該当しない
5割	33万円+(26.5万円×世帯の被保険者数)以下
2割	33万円+(48万円×世帯の被保険者数)以下

【納付について】

①仮徴収(公的年金からの天引き)の対象の方

4月の公的年金からの天引き金額は、2月天引き分と同額になります。ただし、4月から新たに天引きが始まる方は、平成26年中の所得を基に仮計算された保険料の1/6相当の額が天引きされ、平成28年度の保険料額が確定後、10月以降の天引き分で残りの保険料額の調整が行われます。

②仮徴収の対象外の方

6月に保険料額が確定後、7月から納付書または口座振替による納付が始まります。その後、公的年金からの天引きに移行できる方については、10月から天引きが始まります。

町長の

「八日目の蟬」記

セレクション

『小豆島観光国際化チームが発足しました』

小豆島を海外の皆さんに楽しんでもらうためのチームが小豆島観光協会のなかに発足しました。小豆島町の国際交流アドバイザーの森川光与さんに協会の小豆島観光国際化アドバイザー

になっていただきました。このチームにはいくつかのポイントがあります。ひとつは、土庄町からも、小豆島町からもスタッフが参加した、島をあげてのチームであることです。ふたつめは、メンバーが森川さんを始め国際経験豊かな人から、そうでない人まで多様であることです。みつめは、小豆島町地域おこし協力隊員のパトリック・ツァイさんのように外国人のメンバーもいます。これからいろいろな人が参加し、輪が広がっていくはず。さて、国際化チームが何をするかという、まずは、外国語のできる人を観光協会に登録して、各港に2人1組で配置し、外国語のパ



小豆島観光国際化チームのミーティングのようす

ンフレットを配布したり、外国語で案内できるようにします。外国語ボランティアを養成するための英会話セミナーも開催されます。外国語のパンフレットもこれから充実させていきます。今でも、いろいろな外国語パンフレットがあるのですが、それらをひとつの袋にパッケージ化して、配布できるようにします。ホームページなどの外国語での情報発信も充実させていきます。

森川さんは、小豆島観光国際化アドバイザー就任に当たって、「国際化対応をすることで、小豆島と海外がWIN WINの関係になれます。国際化対応によって、小豆島は、その魅力を観光として発信できるし、島の産業を国外へ広げていきます。海外から来られる方は、東京、京都、広島など都市部の観光にはない魅力を小豆島で見えます」とスピーチされました。

ところで、先日、林幹雄経済産業大臣が小豆島の地場産業の輸出戦略を視察に来られました。小さな、零細な企業が歯を食いしばりながら、海外での販路開拓に頑張っていることを、私は林大臣の視察に同行させていただいて知りました。そのとき林大臣から宿題をいただきました。「今年の瀬戸内国際芸術祭の機会などを利用して、インバウンドの外国人観光客に小豆島の地場産業の素晴らしさを知ってもらうことが、輸出戦略になるので、研究してほしい」と。

小豆島観光国際化チームのメンバーともども、一歩一歩、小豆島の国際化に向けて、頑張っていこうと思っています。
(3月3日掲載分から)

「島の食品のあれこれ」

Vol.62

『オリブ葉を活用した「オリブイリコ」の開発』

香川県産業技術センター発酵食品研究所

主席研究員 松原 保仁

発酵食品研究所は、オリブ葉の機能性を生かしたオリブ素材としての新たな活用法を開発するため、数年前からさまざまな試験を行ってきました。昨年、当研究所と伊吹大網組合（観音寺市伊吹町）が、低温乾燥したオリブ葉を入れた釜でカタクチイワシを煮熟処理した「オリブイリコ」を共同開発し、試験販売も行いました。「オリブイリコ」の特徴は、イリコ特有の生臭みと内臓の苦みが少ないため、出汁を作る場合に頭や内臓部分をとり除かなくてもスッキリした味の出汁を取ることができます。通常のイリコで出汁を取る場合は、頭や内臓を取り除く作業が煩雑で準備に時間もかかりますが、「オリブイリコ」は、まるごと水に入れることが可能です。また、内臓



2015年11月に試験販売した「オリブイリコ」

小豆島産業振興・環境技術会議

「小豆島町地域おこし協力隊」

小豆島のもつ力を伸ばすために活動する地域おこし協力隊。現在隊員は4名。それぞれ専門性や出身地の異なる隊員が日々の活動やこれからの取り組みについて報告します。



第三弾の報告は
在籍1年8カ月の
パトリック・
ツイさんです

最近になって地域おこし協力隊としてどんな活動をしているのか、尋ねられることが増えました。私がブルーシートラボラトリ（旧JA草壁支店内）で英語教師をしていることはなんとなく知っているという方は多いでしょう。でも実際には、私はそれ以外のプロジェクトを手掛けています。それもずっと大規模なものを。その内容は複雑なので、まずは私の自己紹介から始めましょう。

私は34歳の台湾系アメリカ人で、写真家です。これまでに私の作品は博物館、ギャラリー、雑誌、書籍など世界中で掲載されました。

去年小豆島に引っ越してきたのにはさまざまな理由があります。その一つには、当時つらい時期にあった自分に、ここにいれば幸せな気分になることができる、ということがわかったからです。その発見後、私は東京

での仕事を辞め、こちらの地域おこし協力隊員になりました。アーティストとしての私のスキルが、この島の役に立つと信じていますし、この気持ちは当時も今も変わりません。

東京からこちらに移住して以来、写真プロジェクトを手がけています。出会った人、目にした植物や動物についてドキュメンタリーを作成する中、季節があつという間に一巡りしました。一年間の滞在中、写真集の材料がすべて揃いました。それらは、これまで見られること、語られることのなかった小豆島です。

これは言葉のないストーリーで、すでに島民の方が心の奥で知っているけれども、もうすでに忘れてしまっていたり、意識をしない、そんな部分の小豆島です。例を挙げるとすれば、時折目にするものや、それも毎日、毎月、毎年続けて見る景色は、もう目に入らないということがあります。それはいつもそこにあって、

美しいものであることに変わりはないのだけれど、見慣れてしまったがゆえに当たり前の景色になっていくものがそれです。そんな大切なものを意識に思い起こさせる、それがアーティストの手掛けていることであり、私の役目なのです。

私はこの特別なストーリーを、ここにいる皆さんと一緒に共有し、また島外の方にも見ていただきたいと思っています。目標はこの本を国内、またできれば海外でも出版できる出版社を探すことです。なぜなら、私たちのいるこの「ホーム」が、とても特別な場所であり、喜ばれるものがたくさんあることを、島外の方にも知ってもらいたいからです。このプロジェクトは今年中に完了させたいと思っています。芸術作品の作成は、想像を超えるほど時間がかかるもので、今年中、と聞いて皆さんは、とても長い期間のように思われるかもしれませんが、でもアート

は自然と同じです。種をまいて、次の日に果物が実ることがないのと同じように、良いものを育むには愛情、ケア、そして忍耐が必要なのです。

私の手掛けているプロジェクトについてこれまでお話しする機会を持たずにいたことを申し訳なく思っています。小豆島で撮った私の写真をご覧になりたい方は、「母の友」という月刊雑誌に掲載されていますので、お近くの図書館にてご覧ください。



胃がん・乳がん・骨粗しょう症検診のご案内

早期発見・治療のため、がん検診は定期的に受けましょう。受診を希望される方は下記をよく読み、健康づくり福祉課（☎82-7038）へお申し込みください。

なお、その他のがん検診は実施時期が近づきましたら、広報でご案内します。



《胃がん検診》

☆4月15日(金)までにお申し込みください。

☆平成27年度に受診した方は、申し込み不要です。申し込みがなくても、町からご案内します。

内 容	対象者	自己負担金	実施日	受付時間	場 所
胃部 X線撮影	40歳以上	1,400円 *生活保護世帯の方は 無料です	5月19日(木)	8:30~10:30	二 生 公 民 館
			5月23日(月)	9:00~10:30	福 田 公 民 館
			5月24日(火)	8:30~10:30	イマージュセンター
			5月25日(水)	8:30~10:30	内 海 福 祉 会 館
			5月26日(木)	8:30~10:30	草 壁 公 民 館
			12月8日(木)	8:30~10:30	内 海 福 祉 会 館
			12月11日(日)	8:30~10:30	イマージュセンター

《乳がん検診》

☆4月22日(金)までにお申し込みください。

☆国の指針変更のため、今年度から視触診はなくなりました。マンモグラフィー検査のみの実施になります。

☆平成26年度に受診した方は、申し込み不要です。申し込みがなくても、町からご案内します。

☆2年に1度の検診ですので、平成27年度に受診した方は対象外です。(無料がん検診の対象者は除く)

内 容	対象者	自己負担金	実施日	受付時間	場 所
マンモグラ フィー検査	40歳以上 の女性	40歳代 : 1,500円 50歳以上 : 1,200円 *生活保護世帯の方は 無料です	5月31日(火)	9:30~11:30	福 田 公 民 館
			6月1日(水)	9:15~11:30 13:00~14:00	イマージュセンター
			6月15日(水)	9:15~11:30 13:00~14:00	草 壁 公 民 館
			6月16日(木)	9:15~11:30 13:00~14:00	内 海 福 祉 会 館
			12月11日(日)	9:15~11:30 13:00~14:00	イマージュセンター
			12月15日(木)	9:15~11:30 13:00~14:00	内 海 福 祉 会 館

《骨粗しょう症検診》

☆4月15日(金)までにお申し込みください。

内 容	対象者	自己負担金	実施日	受付時間	場 所
骨量測量 (手部X線)	18歳以上	2,100円	5月24日(火)	13:00~13:30	イマージュセンター
			5月25日(水)	13:00~13:30	内 海 福 祉 会 館
			5月26日(木)	13:00~13:30	草 壁 公 民 館

こんなときには、国民健康保険の手続きが必要になります

修学・就職・退職など異動の多い時期です。手続きをお忘れなく！

こんなとき	手続きに必要なもの
国保に加入するとき	① 認め印 ② 本人確認ができるもの（免許証など）
他の市町村から転入したとき	① 認め印 ② 本人確認ができるもの（免許証など）
職場の健康保険をやめたとき	① 認め印 ② 職場の健康保険をやめたことが確認できる証明書（資格喪失証明書） ③ 本人確認ができるもの（免許証など）
子どもが生まれたとき	① 認め印 ② 国民健康保険証 ③ 母子健康手帳
国保をやめるとき	① 認め印 ② 国民健康保険証
他の市町村に転出したとき	① 認め印 ② 国民健康保険証
職場の健康保険に加入したとき	① 認め印 ② 国民健康保険証 ③ 新しく加入した職場の保険証（新しく加入した人全員分）
被保険者が死亡したとき	① 認め印 ② 国民健康保険証
その他	① 認め印 ② 国民健康保険証 ③ 本人確認ができるもの（免許証など）
住所・世帯主・氏名などが変わったとき	① 認め印 ② 国民健康保険証 ③ 本人確認ができるもの（免許証など）
保険証を紛失したり、破損して使用できなくなったとき	① 認め印 ② 国民健康保険証（破損の場合） ③ 本人確認ができるもの（免許証など）
修学や単身赴任のため、約1年以上小豆島町を離れるとき ※1年ごとに届出が必要です	① 認め印 ② 国民健康保険証 ③ 在学証明書または学生証など（修学の場合）

（※家族が代理で届出を行うこともできます。）

★加入の届出が遅れると：国保加入の届出が遅れた場合でも、資格を得た月（職場の健康保険をやめた月）までさかのぼって保険税を納めなければなりません。

●保険証がないため、その間の医療費は全額自己負担になります。
●やめる届出が遅れると：手元に保険証があるため、それを使って医療を受けてしまうと、国保が負担した医療費を後で返していただくこととなります。（保険証が手元に「ある・なし」にかかわらず、医療機関受診日に国保の資格が「ある・なし」で判断します。）

●他の健康保険に加入したとき、国保脱退の届出をしないと資格が加入のままになり、国民健康保険税と他の健康保険料を二重で支払うこととなります。

【手続き場所】

健康づくり福祉課
池田窓口センター
☎ 82-17038
☎ 75-10558

高齢者肺炎球菌予防接種の定期接種対象者のお知らせ

●下記の表の年齢に該当する方は、個別でお知らせします。

●60歳以上65歳未満の心臓・腎臓・呼吸器・免疫の病気がかかっている方で、医師が必要と認めた方は健康づくり福祉課（☎82-17038）まで予約票を取りに来てください。

対象期間
4月1日（金）～
平成29年3月31日（金）

※23価肺炎球菌ワクチンを一度でも接種したことがある方は対象外です。

国民健康保険「健康づくりでポイント」を貯めよう！

これまで「貯めたポイントの引き換え方法について」お知らせします。

お知らせします。

対象年齢	生年月日
65歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生
70歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生
75歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生
80歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生
85歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生
90歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日生
95歳	大正10年4月2日～大正11年4月1日生
100歳	大正5年4月2日～大正6年4月1日生

日々、健康の維持と増進に取り組んでいる方をサポートすることを目的に平成27年6月から実施していた国民健康保険「健康づくりポイント」を貯めよう事業は、2月29日でポイント対象期間が終了しました。これまで「貯めたポイントの引き換え方法について」お知らせします。

●健康づくり福祉課
池田窓口センター

●引き換え期間は、必ず引き換え期間内に記念品と交換してください。

子どもの健康相談室



内海病院小児科

山本 真由美先生

＜小児科受診のときのお願ひ＞

たくさん情報をください

両親共働きだったり、核家族が当たり前のようになってきている昨今、お子さんの調子の悪い時に病院に連れてきていただくのが、普段一緒に生活していない親戚の方というのも決して珍しいことではなくなっています。

そんなときに困るのが、「あまり状況を聞いていない」という場合です。いつからどのような症状があつて、どのくらい困っているのか。何かお薬を飲んでいないか。食事や水分摂取はできているのか。家庭内や、所属している集団

での流行はどうか。アレルギーの有無。など、診療のときに必要な情報は実はたくさんあります。それは、ある程度の年齢以下のお子さんでは、連れてきてくださった方からお伺いするしかないのですが、その方も「いやー、一緒に住んでないからわからない」、「連れて行つてと言われたから連れてきただけ」と、顔を見合わせてしまうこともあるのです。

私たちは小児科医は、お子さんを診るだけで診断をすることは基本的にはできません（できる場合もありますが）。お話を伺うだけで診断することもできません。問診で状況をいろいろと聞き、お子さんを診察した上で、やっと診断ができ、お子さんに合わせた対応方法をお伝えすることができません。

小児科医は、お子さんを診察するのと同じくらい、問診を大事にしています。そのため、お子さんの様子が説明できる方に連れてきていただきたいと思います。

それは難しい場合があります。詳しいメモをぜひ持たせてください。お薬手帳があれば必ず、また、乳児の場合には母子手帳も持ってきてくださると安心です。ご協力をお願いします。



小豆島町栄養教室受講生募集

健康づくりの基本は「栄養・運動・休養」のバランスです。「小豆島町栄養教室」では食生活改善を中心とした健康づくりの基礎知識を学習します。なお、受講後は食生活改善推進協議会の会員となり、町民の健康づくりの一環として食生活改善事業の推進にあたります。

健康づくりの基本的には「栄養・運動・休養」のバランスです。「小豆島町栄養教室」では食生活改善を中心とした健康づくりの基礎知識を学習します。なお、受講後は食生活改善推進協議会の会員となり、町民の健康づくりの一環として食生活改善事業の推進にあたります。

場所

池田保健センターほか

内容

・講義（献立の立て方、国民の健康状況と生活習慣予防など）

・調理実習（減塩食、低エネルギー食など）

講師 管理栄養士、保健師、運動指導士ほか

申し込み期限

4月28日(木)まで

申し込み先

健康づくり福祉課

募集人員 16名

期間および回数

6月～平成29年2月

【全9回】

☎82-7038

元気もりもり健康食!

(小豆島町食生活改善推進協議会)

今年度のテーマ ～親子でできる簡単手作りおやつ～



チーズ入り蒸しパン

◆栄養価(1人分)

エネルギー	120kcal
たんぱく質	4.0g
脂質	3.4g
カルシウム	115mg
食塩相当量	0.7g

◆材 料(3人分)

小麦粉	50g	ベーキングパウダー	小さじ1
砂糖	10g	牛乳	75cc
塩	ひとつまみ	切れてるチーズ	3枚

◆作り方

- ① ボウルに小麦粉、ベーキングパウダー、砂糖、塩を入れよく混ぜる。
- ② 切れてるチーズは1cm角に切る。
- ③ ①に牛乳、②のチーズを入れさっくり混ぜる。
- ④ 耐熱皿(もしくは電子レンジ可の容器)に③を入れ、電子レンジで2分半～3分加熱する。

電子レンジで簡単にできるカルシウムたっぷりのおやつ。朝食にもおすすめです。

温浴健康教室のご案内

場 所 サン・オリーブ
時 間 13:30～14:30 健康教室(健康体操)
14:30～15:30 温 浴(入 浴)
参加費 無料(ただし、飲食などは自己負担)

日 程	送 迎 地 区
4月7日	福田・吉田・当浜・岩谷・橘・西村・草壁・安田
4月14日	神浦・蒲野・吉野・二面・室生
4月21日	馬木・苗羽・坂手・古江・堀越・田浦・西村・草壁・安田

※送迎は、お電話で当日の午前11時までにお申し込みください。
※4月28日はお休みします。

申し込み先 健康づくり福祉課 国保係 ☎82-7038

広報文芸

歌壇 小豆島

二月例会 詠草

沖繩に雲が降るとニュースあり「夏虫氷を知らず」といふに
 新病院竣工間近わが島の医療安泰春近きかな
 屋根職人昼餉は庭の梅の下休憩時間は大屋根の上
 気が付けば道行くくるま途絶えたか潮鳴りの音聴きつつ眠る
 夕食は手間暇かけず胃に軽く舌に味良しひとりの暮らし
 蹴飛ばした湯たんぼ掻き寄せあと五分微睡みながら風の音聞く
 病多き晩年の父は子を褒めて育てる心に接しくれたり
 充電を告げてさみどり灯の点り機器の冷たき面^{おもて}潤ふ

堀内 実男
 藤本 忠成
 伝宝千鶴子
 八木 勝子
 山元 露子
 八木 慶子
 立住喜代子
 やぎあきら

生田句会

嫺やかに見えて競り咲く寒あやめ
 荒磯波打ち寄す若布拾ひけり
 接待受く寺のベンチのあたたかし
 店頭のゆかしき干菓子春の色
 別荘は森閑として水仙花
 島球児待たるる春の甲子園

岡田 雅子
 柴田 禮美
 中岡佐智子
 太麻 孝子
 三枝 断水
 吉仲 等

食の教室 K's キッチン

K's キッチンの「K」は「健康」・「からだ」・「キレイ」の意味があります。
 ご自身の食生活を見直してみませんか？

【減塩コース】

テーマ 腎臓を守る生活はじ
 めませんか？

日時 4月18日(月)
 10時～13時

場所 池田保健センター
 内容 管理栄養士の講話・調理体験

準備物 エプロン、タオル

参加費 300円

申込期限 4月11日(月)まで

申し込み先

健康づくり福祉課
 ☎82-7038



ほん大好き

小豆島町立
 図書館
 ☎82-0291

新刊紹介

書名
(幼児向き)
 りきしの春
 いつだってともだち
 いけいけ!しょうがくいねんせい
 ざしきわらしのおとちゃん
 たこやきのたこさぶろう
 まかしとき!

(児童向き)
 交番のヒーロー
 父さんはドラゴン・パティシエ
 どうぶつのおぼけずかん
 いつでもインコ
 遊園地の妖怪一家
 スター・ウォーズ/フォースの覚醒

(ティーンズ向き)
 小説 進撃の巨人 LOST GIRLS
 小説 四月は君の嘘

新刊紹介 (一般向き)

書名	著者名
神 剣 人斬り彦斎	葉室 麟
幹事のアッコちゃん	柚木 麻子
軽 薄	金原 ひとみ
バ ラ カ	桐野 夏生
九 十 九	堂 藤 瞬
バビロンの秘文字 2	西 堂 弘
教 場 2	西 加 奈
ま く 子	西 林 真
ビューティーキャンプ	林 田 尚
カエルの楽園	山 尚
海は見えるか	山 尚
うちのご近所さん	群 山 尚
居酒屋ぼったくり 5	北 川 滝
岳 飛 伝 16	北 方 謙
吼えよ江戸象	熊 谷 敬
レヴェナント 蘇えりし者	マイケル・バンク
子どもの花粉症・アレルギー性鼻炎を治す本	永 倉 仁
はじめての手作りオーガニック・ガーデン	長 嶋 史
野球人は1年ごとに若返る	島 田 茂
子どもがよるこぼ野菜のおかずスープ	島 田 茂
米粉だから作れるとびきりおいしい焼き菓子	多 森 サクミ
るるぶ北陸新幹線で行こう!金沢富山 2016	
家族でおでかけ中国・四国 '16-'17	

4月の行事予定

行 事 名	日 時	対 象
論語を読む会	2日(土) 10:00~12:00	一 般
にこにこおはなし会	3日(日) 14:00~14:30	幼・児童
古文書講座	9日(土) 10:00~12:00	一 般
おはなしひとみ会	10日(日) 14:00~14:30	幼・児童
紫式部日記を読む会	16日(土) 14:00~16:00	一 般
読書会	17日(日) 文芸散歩(高知)	

今月のロビー展

「春!外にでてみよう!」図書展 4月27日(水)まで

「子どもの読書週間」が始まります。(4月23日~5月12日)

4月23日は「子ども読書の日」です。
 町立図書館では、特別展示・イベントを用意していますので、ぜひお越しください。
 ・優良児童図書展 4/23(土)~5/29(日) 町立図書館にて
 6/ 1(水)~6/30(木) 池田子ども文庫にて
 ・人気図書ベスト20展 4/23(土)~5/29(日) 町立図書館にて
 ・ストロー工作 5/8(日) 14:30~16:00 町立図書館にて

映画会のお知らせ

図書館で映画を上映します。懐かしの名作映画などを上映予定です。
 4月24日(日) 14時から(子ども向け)「きかんしゃトーマス はじめましてトーマス」
 無料ですので、どなたでもお気軽にお越しください。

オーリーブギャラリー4月の展示(オーブナビ小豆島2階)

今月のオーリーブギャラリーの催しは次のとおりです。ぜひご覧ください。

展 示 期 間	展 示 内 容
4月20日(水)~26日(火)	小豆島さをり会 さをり織展

展示時間 9:00~17:00

子育て応援モデル事業を募集します

本町では、子どもの個性、能力を伸ばす保育と教育を実現するため、子育て応援モデル事業を行っています。

■子育て応援

モデル事業とは、子どもの教育、発育に関する先進的でユニークな取り組みを行う個人や団体に対し、子育て応援モデル事業として補助金を交付し、子どもが健やかに育つ環境と幼児教育の質の向上を目指します。

ただし、政治・宗教・営利を目的とした活動や公益を害するおそれのある活動は、本事業の対象外となります。

■補助金について

●対象者
小豆島町内に住所を有する方で、子どもの教育、発育に関する先進的でユニークな取り組みを行う個人や団体

●補助金について
子育て応援に関する活動に係る対象経費の全額（1年度当たり限度額50万円・最長3年）

●補助金の交付対象となる経費について
補助金の交付は、子育て応援に関する活動に必要な次の経費が対象になります。

- ① 報償費（謝礼金など）
- ② 旅費
- ③ 需用費
（講師の宿泊費を含む）
- ④ 使用料および賃借料
（例 消耗品費・燃料費）
- ⑤ 原材料費
- ⑥ 備品購入費など
- ⑦ 簡易な遊具の設置

（自治会に限る）
●申請受付 4月末まで
●手続きの流れ
5月中旬に選考委員会（プレゼンテーション）を行った後、決定します。

補助金の交付対象となる活動や経費について、詳しくは子育て共育課までお問い合わせください。

問い合わせ先
子育て共育課
☎82-7010



就学援助事業について

本町では、経済的理由により就学が困難な児童、生徒に対して、学用品等購入費、給食費などの一部を援助しています。

対象者

小豆島町内に住所を有する保護者の属する世帯が次のいずれかに該当する児童・生徒

- ① 町民税が非課税であるか減免されていること
- ② 固定資産税が減免されていること
- ③ 国民健康保険税が減免されているか猶予されていること
- ④ 国民年金保険料が減免されていること
- ⑤ 児童扶養手当を受給していること
- ⑥ 生活保護の停止または廃止を当該年度に受けていること
- ⑦ その他教育委員会が特に必要と認める場合

対象経費

学用品等購入費、校外活動費、修学旅行費、新入学学用品費、学校給食費、その他必要と認める経費

援助する児童、生徒の認定は、定例の教育委員会において審議の上、決定します。

就学援助を希望される方は、通学している学校または学校教育課（☎82-7014）へご相談ください。

小豆島町奨学資金

平成28年度の奨学資金の貸付希望者を募集しています。

申込期間

4月1日（金）～28日（木）

申請書交付場所

- 学校教育課
 - 池田窓口センター
 - 各地区公民館
- 申し込み・問い合わせ先
学校教育課
☎82-7014

☆奨学資金の詳細内容は、広報3月号に掲載しています。

小豆島町保健医療

福祉関係職修学資金

平成28年度の修学資金の貸付希望者を募集しています。

申込期間

4月1日（金）～28日（木）

申請書交付場所

- 健康づくり福祉課
 - 池田窓口センター
- 申し込み・問い合わせ先
健康づくり福祉課
☎82-7038

※随時受付を行っています
が、修学資金の貸付は、申請書を受け付けた月分からとなりますのでご注意ください。

☆修学資金の詳細内容は、広報3月号に掲載しています。



統合高校情報室

いよいよ小豆島高校・土庄高校最後の1年、平成28年度が始まりました。両校とも統合に向けての準備と閉校に向けての準備を急ピッチに進めていかねばなりません。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

第67回卒業式が挙行されました

3月1日に土庄高校において、3日に小豆島高校において卒業式が挙行されました。土庄高校からは、全日制課程124名、定時制課程3名が、小豆島高校からは、全日制課程98名、定時制課程4名が卒業しました。進学や就職のため、島を出て頑張る者、島に残って守る者、それぞれの未来へ向かって希望をもって力強く羽ばたいていく若者たちに心よりエールを送りたいと思います。
「夢に向かって思いっきり チャレンジ!!」



小豆島高校卒業式

交流リーダー研修成果発表

2月6日に豊島で行った「交流リーダー研修」の成果を、両校の生徒会役員がレポートにまとめました。研修を通して、「両校が協力し合って、地元の人が地元の良さをわかる島にしていきたい」、「両校で、環境や勉強してきたことが異なっているからか、考え方や目のつけ所が違って面白かった」など、統合に向けて前向きな思いや感想も持ったようです。今回の成果物は、お世話になった豊島の方々に贈るとともに、両校で交換して掲示しました。



生徒会役員の皆さん

小豆島から
大きな未来へ!

お問い合わせ

統合高校に関するご意見、ご質問はこちらのアドレスへお願いします。

syodoh02@kagawa-edu.jp

小豆島高校・土庄高校 担当 主幹教諭 塩田浩之

しあわせづくりのための人権教育

「人権」とは、日常生活で人がしあわせに生活するための権利であり、それは住民一人ひとりの「しあわせづくり」です。

「人権」と聞くと、「重く難しい問題」、「自分には関係ない問題」とイメージされやすく、「人権＝差別」と思われがちです。

しかし、人権は決して難しいものでも、特別なものでもなく、私たちが生活するために、最も優先されるべき基本的なルールです。

小豆島町では、「小豆島町人権教育・啓発に関する基本計画（しあわせづくりへの教育・啓発）」に基づき、人権教育・啓発活動を行っています。

啓発活動の一つとして、さまざまな人権課題の中から、テーマを絞って開催している「しあわせづくり（人権・同和教育）講演会」があります。

いろいろな方の講演を聞くことは、新しい知識を得るとともに、自分なりに気づきが生れます。その気づきで、少しでも行動に変

化が現れるような内容の講演会になるよう、毎年開催しています。

「人権」を身近なものとしてとらえ、傍観者のな姿勢ではなく、主体的に行動できる人づくりが、人権教育の取り組みの広がりだと考えています。

子どもたちは、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校にかけて、発達段階に応じた人権・同和教育を学び、着実に人権感覚を育んでいます。

大人の私たちも、お互いの人権を尊重しあえるまちななるよう、人権感覚を育みませんか。
お問い合わせ先
人権対策課

☎ 82-7011



しあわせづくり講演会
「福を運んだ人形まわし」

三大惑星を見よう！ 星空観察会のお知らせ

今年の春から夏にかけて木星・火星・土星の三大惑星が見ごろを迎えます。特に火星は2年2か月ぶりの接近で、次回の大接近を控え極冠などの模様が見やすくなっています。

町立図書館では、この機会にグループ単位での観察会と、図書館でのミニ天体写真展を企画しました。詳しくは図書館備え付けの申し込み用紙に記載していますので、ご覧の上、ぜひご参加ください。

開催期間 4月～8月
場所 国民宿舎三階屋上
お問い合わせ先
町立図書館

☎ 82-0291



火星

香川県オリーブ品評会 (オリーブオイル部門)授賞式

3月15日(火)、NPO法人小豆島オリーブ協会主催による8回目の「香川県オリーブ品評会(オリーブオイル部門)」の授賞式が小豆島産業会館で行われました。

この品評会は、香川県のオリーブオイルの品質向上を目的に行われており、一次審査の化学検査、二次審査の官能検査を経て、次のオイル製品が受賞しました。



授賞式の様子



受賞オイル(右から受賞順)

受賞区分	企業名	製品名
香川県知事賞	小豆島オリーブ㈱	小豆島産エキストラバージンオイル
NPO法人小豆島オリーブ協会理事長賞	空井農園	小豆島の農家で作ったオリーブ油
小豆島オリーブ振興協議会長賞	㈱オリーブ園	1st - ORIGIN エキストラバージンオリーブオイル
小豆島町長賞	ヤマサン醤油㈱	小豆島産エキストラバージンオリーブオイル ミッション
土庄町長賞	㈱アグリオリーブ小豆島	小豆島産100%エキストラオリーブオイル

オリーブ栽培者のごよみ

オリーブ栽培者の皆さんへ

- ① 4月は、オリーブアナアキゾウムシの越冬成虫が産卵を始める時期ですので、必ず薬剤防除を行いましょう。4月中旬〜下旬にスミチオン乳剤の50倍液を、産卵が集中する樹幹部の株元に、葉にかからないように注意して散布します。また、成虫
- ② 今年植え付けた苗は十分にかん水し、萌芽が始まれば追肥をしましょう。水はけの悪い園地では、水鉢を崩し、株元に水が溜まらないようにしましょう。
- ③ 4月下旬頃は、花芽がでさあがる大切な時期です

ので、雨が降らず園地が乾いているようであれば、十分かん水をしましょう。



スミチオン乳剤は葉にかからないように注意しましょう

全国緑のカーテンフォーラムinかがわ

香川県が、緑のカーテンの更なる普及を目指した「かがわ緑のカーテンフォーラムinかがわ」を開催します。

ラジオでおなじみの生島ヒロシさんや緑のカーテンの効果・育て方のアドバイザーの講演があります。

パネルディスカッションでは、地域で緑のカーテンを広めていくための手法について、うどん県副知事の本内晶子さんを始め、地域で緑のカーテンを実践している方々が意見を交換します。

日時 5月21日(土) 13時〜

場所 サンポート高松 香川国際会議場

定員 300名

(応募多数の場合は抽選) 申込締め切り

4月28日(木) 必着 問い合わせ先

香川県環境政策課

☎087-832-3209

http://www.pref.kagawa.

lg.jp/kankyo/data/1603/

160322.htm

また、5月22日(日)には緑のカーテン設置場所などへ

の有料視察ツアーが行われます。参加を希望される方はお申し込みください。
※この事業は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。



生島ヒロシさん



木内晶子さん

狂犬病予防注射の

お知らせとお願い

小豆島町が実施する平成28年度狂犬病予防注射の日程は次のとおりですので、犬を飼っている方は忘れないで注射を受けさせてください。

必ず行いましょい

- ① 狂犬病予防法により、飼い犬は登録と予防注射が義務付けられています。登録は犬の生涯に一回ですが、狂犬病予防注射は毎年一回受けなければなりません。生後90日を経過している子犬には、必ず登録と予防注射を受けさせてください。
- ② 犬の登録内容に変更があった場合（犬の死亡や飼い主の転居など）は、必ず役場の窓口へ届け出てください。
- ③ 交付された鑑札、注射済票は飼い犬に必ず付けるようにしてください。首輪などに付けておけば、迷い犬になっても登録番号から飼い主や住所を調べることができます。また、飼い犬表示シールは訪問者の目に付きやすい
- ④ 犬は繫いで飼いましょう。門扉などに貼ってください。
- ⑤ 散歩などで飼い犬がフンをした場合は飼い主が始末し、みんなの町をきれいにしましょう。
- ⑥ 町中を徘徊する野犬が増加しています。かわいそうだからといってエサを与えると、野犬が増え、周辺の住環境が悪化することに繋がります。また、飼い犬が不用になつたからと捨てるようなことはせず、責任を持って最後まで飼いましょい。



狂犬病予防注射日程

4月7日(木)	
場所	時間
竹生町営住宅	9:00～ 9:20
西村公民館	9:30～10:00
草壁公民館	10:10～10:50
草壁会館	11:00～11:10
4月10日(日)	
場所	時間
安田馬場	9:00～11:00
イマージュセンター	12:00～13:30
4月13日(水)	
場所	時間
安田馬場	9:00～ 9:50
橘会館	10:10～10:20
岩谷バス停	10:35～10:40
当浜町営住宅	10:50～10:55
福田公民館	11:05～11:25

4月16日(土)	
場所	時間
赤坂バス停	9:00～ 9:10
J A中山出張所	9:25～ 9:35
イマージュセンター	9:50～10:30
浜条馬場	10:40～10:50
J A蒲生出張所	11:00～11:10
入部菱屋電気前	11:20～11:30
4月20日(水)	
場所	時間
苗羽公民館	9:00～ 9:50
坂手公民館	10:00～10:20
古江庵	10:30～10:40
堀越バス停	10:50～10:55
田浦バス停	11:05～11:10

4月22日(金)	
場所	時間
石場バス停	9:00～ 9:05
牛ヶ浦旧バス停	9:10～ 9:15
小池バス停	9:20～ 9:25
長崎バス停	9:30～ 9:35
三都郵便局	9:40～ 9:55
南蒲野公民館	10:00～10:10
神浦バス停	10:20～10:30
吉野地区集落センター	10:45～10:50
二生公民館	11:00～11:10
J A池田二生出張所	11:20～11:30
4月24日(日)	
場所	時間
安田馬場	9:00～10:30
イマージュセンター	11:00～12:00

問い合わせ先

環境衛生課
池田窓口センター

☎ 82-7008

☎ 75-0557

問診票に記入を

飼い主の皆さんには3月下旬に飼い犬の登録内容や注射日程などを印刷した案内はがきを郵送しています。圧着しているはがきの内側には問診票が印刷されていますので、矢印の部分から開封して、事前に飼い犬の状態を記入し、必ず会場に持参してください。

なお、5つの問診項目のうち一つでも「いいえ」があれば、予防注射を受けられない場合がありますのでご注意ください。

料金別納郵便

登録料	2,850円
注射料	0円
合計	2,850円

小豆島町役場 環境衛生課
〒761-4402 小豆郡小豆島町安田甲144-90
TEL: 0879-82-7008
必ず印刷してください
集合注射会場では注射済票のみの交付はできません。

◎印刷日程と問診票の案内があります。開封してご覧ください。

【 狂犬病予防注射問診票 】

1. 元気、食欲がある。 (はい/いいえ)
2. 現在、体調に問題がない。 (はい/いいえ)
3. 予防注射を受けて異常がでたことがない。 (はい/いいえ)
4. 現在、通院していない。 (はい/いいえ)
5. 妊娠していない。 (はい/いいえ)

・問診票に「いいえ」がある場合は注射できない場合があります。
 ・治療中の犬については主治医の指導に従ってください。
 ・事故防止のため、必ず犬を保定できる人が連れてきてください。
 犬を保定できない場合は、注射できない場合があります。
 ・注射会場を犬のふん尿で汚さないよう、ご協力をお願いします。

年金生活者等支援臨時福祉給付金

（高齢者向け）のお知らせ

賃金引き上げの恩恵が及びにくい低所得の年金受給者などを支援するという観点から、低所得の「高齢者」を対象に年金生活者等支援臨時福祉給付金（対象者1人あたり30,000円）が支給されます。4月下旬に対象と見込まれる方に申請書を郵送しますので、申請書に必要事項を記入、押印、必要書類を添付の上、郵送または、窓口にて提出してください。申請をしない場合は、支給されませんのでご注意ください。

●平成27年度の町民税（均等割）が課税されていない方

給しており、口座情報に変更がない方は不要です。

●平成27年度市町村民税（均等割）が課税されている方の扶養親族、生活保護制度の被保護者などの場合は、対象外になります。

●平成27年度市町村民税（均等割）が課税されている方は、対象外になります。

●「振り込め詐欺」や「個人情報」の詐取にご注意ください

●申請期間
4月25日（月）～7月25日（月）

●支給額
対象者1人あたり
30,000円

●必要書類
①申請書（薄緑色の用紙）
②支給対象者全員分の本人確認書類の写し
③通帳の写し等の振込口座が確認できる書類

●対象者
平成27年度臨時福祉給付金対象者のうち、平成28年度中に65歳以上（昭和27年4月1日以前に生まれた方）になる方

●申請期間
4月25日（月）～7月25日（月）

●問い合わせ先
健康づくり福祉課
82-7038

●申請期間
4月25日（月）～7月25日（月）

●支給額
対象者1人あたり
30,000円

●必要書類
①申請書（薄緑色の用紙）
②支給対象者全員分の本人確認書類の写し
③通帳の写し等の振込口座が確認できる書類

●対象者
平成27年度臨時福祉給付金対象者のうち、平成28年度中に65歳以上（昭和27年4月1日以前に生まれた方）になる方

●申請期間
4月25日（月）～7月25日（月）

●問い合わせ先
健康づくり福祉課
82-7038

●申請期間
4月25日（月）～7月25日（月）

●支給額
対象者1人あたり
30,000円

●必要書類
①申請書（薄緑色の用紙）
②支給対象者全員分の本人確認書類の写し
③通帳の写し等の振込口座が確認できる書類

●対象者
平成27年度臨時福祉給付金対象者のうち、平成28年度中に65歳以上（昭和27年4月1日以前に生まれた方）になる方

●申請期間
4月25日（月）～7月25日（月）

●問い合わせ先
健康づくり福祉課
82-7038

●申請期間
4月25日（月）～7月25日（月）

●支給額
対象者1人あたり
30,000円

●必要書類
①申請書（薄緑色の用紙）
②支給対象者全員分の本人確認書類の写し
③通帳の写し等の振込口座が確認できる書類

●対象者
平成27年度臨時福祉給付金対象者のうち、平成28年度中に65歳以上（昭和27年4月1日以前に生まれた方）になる方

●申請期間
4月25日（月）～7月25日（月）

●問い合わせ先
健康づくり福祉課
82-7038



今月号から小豆島の文化財の魅力を伝える連載を開始します。現在、町内には91件の指定文化財と、94件の登録有形文化財があり、それぞれの文化財には、島の歴史や文化、自然の魅力が豊富に凝縮されています。これから文化財や島の魅力を伝えていきたいと思っておりますので、ぜひお読みください。

小豆島町の文化財

明王寺釈迦堂（国指定重要文化財）

池田大池のほとりにある明王寺の中に、ほかの建造物とは一風変わったお堂があります。

水軍として戦乱に従事していた記事もあり、当時の混乱した社会情勢の中で、寄進した当時の人々の願い、思いを感じることが出来ます。

この明王寺釈迦堂は、小豆島内唯一の室町時代の建造物で、当時の建造物の代表的な例として、国の重要文化財に指定されています。また、棟札や瓦等から、大永二年（二五二二）から建築がはじまり、天文二年（一五三三）に完成したことがわかります。

釈迦堂には、江戸時代のものと思われる極彩色で美しい須弥壇（仏像を安置する台）があるほか、建築当初の状況を伝える文字瓦が多く残っています。



明王寺釈迦堂

文字瓦には、建立にあたっての寄進者の名前や願文が残され、中には、人々が小豆島

『香川県後期高齢者医療広域連合』

懇話会の公募委員募集

香川県後期高齢者医療広域連合では、後期高齢者医療制度の施行および運営に

関し、後期高齢者医療制度に加入している方の代表者の1人として、意見を述べたいと懇話会の委員を募集します。

募集人員 2名

募集期間

4月15日(金)～5月16日(月) 応募資格 香川県内に住所を有する満75歳以上の方

(平成28年4月1日現在) 応募方法 所定の応募用紙に記入の上、香川県後期高齢者医療広域連合へ郵送、FAX、電子メールまたは持参で提出してください。

その他 募集要項・応募用紙は、健康づくり福祉課および池田窓口センターにあります。

※香川県後期高齢者医療広域連合のホームページからもダウンロードできます。 問い合わせ先

香川県後期高齢者

医療広域連合

☎087-811-1866



学生納付特例制度の申請について

20歳になると、学生の方も国民年金に加入しなければなりません。しかし、学生の皆さんは、収入がない場合が多いため、保険料の納付が困難な場合があります。

国民年金制度では、在学中の保険料を社会人になつてから後払いができる「学生納付特例制度」を設けています。

納付特例が一度承認された方については、翌年度以降、在学期間中は毎年ハガキ形式の学生納付特例申請書が日本年金機構より送付

されますので、必要事項を記入の上、ご返送ください。初めて学生納付特例を申請される方、学校が変わられた方などは、住民票を登録している市区町村の国民年金担当窓口または年金事務所

所で申請をしてください。 ◆持参物 (ハガキ形式以外の方) 学生証または在学証明書、年金手帳、認印

国民年金保険料改定のお知らせ

平成28年4月～平成29年3月分の国民年金保険料額は月額「16,260円」です。保険料の納付先は、金融機関またはコンビニエンスストアなどとなっております。また、便利でお得な「口座振替」、「前納制度」もありますので、ぜひご利用ください。

問い合わせ先

- 高松東年金事務所 国民年金課 ☎087-861-3866
- 住民課 住民年金係 ☎82-7005
- 池田窓口センター ☎75-0557

介護予防のために 基本チェックリストを必ず受けましょう

75歳以上の要介護認定を受けていない方を対象に基本チェックリストを実施し、心身の機能の衰えがあると判断された方には、介護予防運動教室を行ってまいります。基本チェックリストに回答し、

4月30日(土)までに役場や各地区公民館にある回収箱に投函いただくか、同封の返信用封筒でご返送ください。

問い合わせ先 地域包括支援センター ☎82-7006

《青少年健全育成啓発》

心豊かなたくましい子に育てるために

家庭は青少年の人格形成に重要な役割をします。特に性格や基本的な生活習慣は、乳児期から幼児期、児童期、青年前期にかけての家庭のあり方やしつけ、子育ての姿勢が大きく影響します。子どもたちが自立するために、発達段階に応じて支援し、見守っていききたいものです。



乳児期には信頼感を育てましょう



幼児期には自立心を育てましょう



児童期には活動性を育てましょう



青年前期には自覚性を育てましょう

教育支援センター 若竹教室
学校を休みがちな子どもたちのための教室です

当センターでは相談の窓口を設けています。子どもの不登校、いじめ、非行、進路など遠慮なくご相談ください。

問い合わせ先 小豆地区青少年育成センター
小豆地区教育支援センター
ヤング相談電話 ☎62-6200

《親の会》
学校を休みがちな子どもを持つ保護者が悩みや子どもとの接し方などについて話す会です。
毎月第3金曜日
10:00～12:00
※都合により変更有り



教

平成27年度教育委員会表彰

教育分野での活躍を賞して

3月3日、役場内海庁舎において、平成27年度小豆島町教育委員会表彰が行われました。

教育委員会表彰は、教育分野に貢献またはこの1年間に優秀な成績を挙げた団体・個人を表彰するもので、6団体と27名の方に表彰状が贈られました。

今年度は、小豆島高校野球部や陸上部などといった全国の舞台で活躍する子どもたちが多く、さらには、統計や音楽といった分野でも優秀な成績を残し、文化面でも、小豆島の子どもたちの多彩な才能が発揮されました。



また、俳画や拳法を通じて、文化活動、社会体育活動に尽力し、町の社会教育の進展に寄与された南重子さん、川西基雄さんが受賞されました。

子どもたちの活躍につきましては、広報2月号掲載の「小豆島を元気にする児童・生徒の活躍」をご覧ください。

子どもたちの活躍につきましては、広報2月号掲載の「小豆島を元気にする児童・生徒の活躍」をご覧ください。

子

オリーブ公園遊具完成セレモニー

子どもたちの夢を託して

3月9日、かねてより整備中だったオリーブ公園の遊具が完成し、遊具完成セレモニーが、オリーブ公園遊具広場において開催されました。

以前の遊具は、オリーブ公園開園時から設置されていたもので、老朽化が進んでいました。

セレモニーでは、草壁保育園の鼓笛隊が演奏を披露したり、町内の4幼稚園の代表園児たちが関係者らとテープカットを行いました。

最後は、4月から小学1年生になる園児たちの夢を託した風船が空に飛ばされ、遊具完成を祝いました。



島旅に一句

小豆島町観光協議会が島内の観光施設や船舶に設置した観光ポストに、観光客の方などが投句された観光俳句について、次のとおり選句されました。

小豆島観光俳句

中塚元三・柴田禮美 選

特選 (三句)

オリーブのかがやきに透け春の潮 高知県 橋田 憲明

(評) 銀色に揺れるオリーブの葉影から、眼下の瀬戸の海にかがやく春の潮の息吹を感じとる作者。

風光る島へ渡舟の一過客 香川県 原 道子

(評) 陽光の中、静かな瀬戸内海に浮かぶ小舟の上の吾身を「奥の細道」の過客にたとえ、一期一会を楽しんでる様子に目が浮かぶ。

春昼のこうじ菌棲む醤油蔵 高知県 伊野部哲也

(評) 醤油蔵の屋根瓦は酵母菌で染まり、醬の香りが漂う。こうじ菌で小豆島の春をみごとに切り取っている。

佳作 (六句)

遍路憩ふ杖より低く身を屈め 香川県 村川 昇

オリーブの原木太し島の夏 香川県 田村 節子

海臨む真白き風車風薫る 静岡県 赤堀 賢司

寒霞溪ななめに切つて夏燕 神奈川県 丸山 克彦

断崖の根が木を掲げ紅葉山 静岡県 山口 昭利

日脚伸ぶ分教場の古き椅子 栃木県 丹野 セツ

※平成27年1月〜平成28年1月分 投句数 831句

今回から、真砂松蔭先生のご推薦により、中塚元三さん、柴田禮美さんに共同で選句をしていただきます。選者のお二方には、心から感謝を申し上げます。



手話奉仕員養成講座 (入門編) 受講者募集

初めて手話を学ぶ方や手話経験が1年未満の方を対象にした手話奉仕員養成講座を開催します。

- 受講資格**
- ①義務教育を修了している方
 - ②講座および手話サークル体験・聴覚障害者協会行事に参加できる方
 - カリキュラム
 - ①手話奉仕員養成カリキュラム「入門編」のうち出席率70%以上
 - ②手話サークル体験参加5回以上
 - ③聴覚協会関連行事参加3回以上
 - ②③は講座期間中〜年度末。①③を全てクリアすれば入門編修了。
- ※入門編修了後に「基礎編」

(平成29年5月〜平成30年2月)の受講が可能。

定員 40名(定員を超えた場合は抽選にて決定)

受講料 無料(ただし、テキスト代・補助教材費4,320円が必要)

日程 5月21日(土)〜平成29年1月21日(土)の基本毎週

土曜日(祝祭日除く)

【至22回】

時間 14時10分〜16時10分

場所 土庄中央公民館

申込方法 往復はがきの往信面に①住所②氏名(ふりがな)③年齢④電話番号およびFAX番号⑤受講希望会場「小豆島会場」を記入し、返信面の宛名欄にも住所・氏名を記入の上、左記へお申し込みください。

申込締め切り 4月25日(月)まで

申し込み先・問い合わせ先 〒761-18074

香川県高松市太田上町405-1

香川県聴覚障害者福祉センター「手話奉仕員養成講座 入門編」係

☎087-868-9200
FAX 087-868-9201

JICAボランティア募集

独立行政法人国際協力機構(JICA)では海外で活動するボランティアを募集しています。

①青年海外協力隊/日系社会青年ボランティア

対象 満20〜39歳

②シニア海外ボランティア

対象 満40〜69歳

募集期間 4月1日(金)〜5月9日(月) 消印有効

問い合わせ先 JICA四国

☎087-821-8824

●ボランティア募集説明会 & 映画無料上映会

(参加無料、申し込み不要、入退室自由)

日時 4月17日(日) 13時〜17時

場所 高松オリープホール
詳しくは、ホームページ
(<http://www.jica.go.jp/volunteer/seminar/shikoku>)をご覧ください。

国際交流アドバイザー森川光与さんの ～英語で小豆島を紹介しよう!～



Hello everyone! 3月20日から瀬戸内国際芸術祭が始まりました。いよいよ英語を実践で使えるチャンスが島内のあらゆるところで見られるようになります。ぜひ、勇気をもって笑顔で「Hello, welcome to Shodoshima」と声をかけてください。

さて今月からは地域おこし協力隊のPatrick Tsaiさんと私の二人で、すぐに使える英会話フレーズ、海外の人が見て感じる島やアートにちなんだ英語等をご紹介します。

Setouchi Triennaleは瀬戸内芸術祭という表現に用いられる英語です。Triennaleとはイタリア語が語源の言葉で、語頭にあるTriが3という意味を持ち

ます。3年に一度行う、という意味で、本芸術祭のように3年に一度のイベントなどに使われる言葉です。発音はトリエナール、で「ナ」の部分にアクセントを置きますが、時にこれに該当する英語表記(triennial)の発音トライエニアルを使用する場合があります。

国際化チームでは瀬戸芸期間中、英語レッスンと観光客対象の簡単なガイドを実体験で学ぶ、ウェルカムサポーター養成のためのセミナーを開催しています。レベルを問わずどなたでも大歓迎。次回の英会話レッスンは4月13日18時から。詳しくは小豆島観光協会までお問い合わせください。

Enjoy!

小豆島町国際交流アドバイザー
小豆島観光国際化アドバイザー 森川光与

お知らせ

Information

ブリザードフラワー教室 「入学式用コラーージュ」

日時 4月5日(火) 19時～
場所 働く婦人の家
内容 洋服に合わせたコサージュ作り(ピンク、黄、青、白、緑の中から選択)
講師 土肥 真由美氏
定員 16名
参加費 2,000円
(材料費込み)
申し込み先
働く婦人の家
☎82-10410

日時 4月13日(水)
18時～19時
(受付・17時30分～)
場所 小豆島ふるさと村
ふるさと交流センター
内容 観光案内や挨拶などの英会話を学び、瀬戸内国際芸術祭2016において実践の場を設けます。
講師
森川 光与氏(小豆島観

第2回英会話セミナー YOKOSO SHODOSHIMA

光国際化アドバイザー
・島本 瑞生氏
(小豆島観光協会職員)

参加費 無料
申込方法 お電話で申し込みください
主催・申し込み先
(一社)小豆島観光協会
☎82-11775

緑のカーテン育成講習会

日時 4月22日(金)
13時30分～15時
場所 土庄中央公民館
定員 20名
参加費 無料
持参物 動きやすい服装・軍手・スコップ
申込方法 参加をご希望の方は、電話、FAXまたは電子メールで①参加日②参加者氏名③連絡先を記入の上、左記へお申し込みください。
申込締め切り 4月21日(木) 12時まで
主催 香川県
問い合わせ先
香川県環境政策課
☎087-832-3209
FAX 087-806-0227
Mail: kankyoseisaku@pref.kagawa.lg.jp

小豆島自然観察会

日時 4月24日(日)
9時30分～11時30分
※小雨決行
集合場所 白浜(三都半島)
持参物 水筒、帽子、タオル、筆記用具など
内容 砂浜の植物などを観察したり、打ち上げられたものを使ってクラフト作りをします。
参加費 100円(保険料)
定員 30名
申込締め切り 4月20日(水)
※一般の方も参加できます。
申し込み・問い合わせ先
土庄町教育委員会事務局
生涯学習課 坂本
☎62-17013

町民電話案内サービス

小豆地区消防本部では、新指令システムの導入に伴い、火災・救助出動時における町民電話案内サービスを開始しています。
火災・救助出動時、発生場所等の問い合わせは町民電話案内サービスをご利用ください。
※119番は緊急通報専用ですので、問い合わせなどでの使用はご遠慮ください。
町民電話案内サービス
☎62-17119

相談

Advice

年金相談のお知らせ

日時・場所
・4月8日(金) 10時～15時
内海庁舎 研修室
・4月20日(水) 10時～15時
池田庁舎 第3会議室
※年金手帳・年金証書・振込通知書などのほか、運転免許証などご本人であることの確認できる物をご持参ください。代理の方が来られる際には、委任状および依頼を受けたご本人であることが確認できる物が必要となります。
問い合わせ先
住民課 住民年金係
☎82-17005

遺言・相続無料相談

日時 4月14日(木)
10時～16時
場所 香川県弁護士会館
相談方法 面談による相談(30分以内)
※電話相談は実施しません。
申込期限 4月8日(金)まで(完全予約制)
主催・申し込み先
香川県弁護士会事務局
☎087-822-33693

憲法週間記念無料法律相談

日時 4月27日(水)
10時～16時
受付 9時30分～15時30分
場所 高松家庭・簡易裁判所庁舎1階
相談方法 弁護士による面談での法律相談
(30分程度、予約不要)
※必ず受付時間内に受付を済ませてください。
問い合わせ先
香川県弁護士会事務局
☎087-822-33693



小豆島中央病院の診療費が イルカカードで支払いできます!

4月から診療開始する小豆島中央病院の診療費が小豆島オーリーブバスに導入されているICカード「IruCa」で支払いできるようになります。1枚のカードで路線バスと診療費の精算ができます。また、病院内には現金をチャージする機械も設置していますのでご利用ください。



4月 暮らしのカレンダー

1日	金			
2日	土			
3日	日			
4日	月			
5日	火	特設人権相談所	10:00~15:00	内海福祉会館
6日	水			
7日	木			
8日	金	健康相談	9:30~10:30	草壁会館
9日	土			
10日	日			
11日	月			
12日	火	いこいの場	10:00~12:00	草壁公民館
		心配ごと相談所	13:30~15:30	内海庁舎1階 第1相談室
13日	水			
14日	木	こころの悩み相談	14:30~16:10	小豆総合事務所 東館1階デイケア室
15日	金	健康相談	13:30~14:30	城山会館
16日	土			
17日	日			
18日	月	K'sキッチン(減塩)	10:00~13:00	池田保健センター
		行政相談	13:30~16:00	池田保健センター1階 保健指導室
19日	火	よろず小豆島サテライト	10:00~16:00	内海庁舎1階 第1相談室
20日	水	健康相談	10:00~11:00	内海庁舎1階 第1相談室
		行政相談	13:30~16:00	内海庁舎1階 第1相談室
21日	木	2歳児歯科健診	13:30~14:30	イマージュセンター (対象児:平成25年9月~平成26年2月生まれ)
22日	金	すくすくルーム	10:00受付	イマージュセンター
		(対象児:平成28年2月生まれ)		
		ベビーサロン	10:00~12:00	
23日	土			
24日	日			
25日	月	健康相談	10:00~11:00	当浜第二集会所
26日	火	健康相談	10:00~11:00	吉田地区浜集会所
		心配ごと相談所	13:30~15:30	池田保健センター1階 保健指導室
27日	水			
28日	木			
29日	金			
30日	土			

「瀬戸内しまラジ!」放送中

「瀬戸内しまラジ!」では、瀬戸内海と小豆島をはじめとした瀬戸内の島々の魅力をお伝えしています。

4月は「YOKOSO SHODOSHIMA ウェルカムサポーター」、「小豆島のジェラート」、「本から生まれる一皿」、「生活にオリーブを」などの話題をお届けする予定です。※放送内容は、変更になる場合があります。

FM香川 周波数78.6MHz 毎週火曜日8:25~8:30

「瀬戸内しまラジ!」の番組公式ブログ(<http://shimaradio.seesaa.net/>)では、小豆島のホットなニュースをお届けしていますので、ぜひご一読ください。

毎月19日は「食育の日」朝ごはん大好き 野菜大好き 小豆っこ

町内の

【2月】

事故・火災・救急



発生状況

区分	件数	1月からの計	昨年同期
発生	6	9	3
負傷者	6	11	3
死亡者	0	0	0
火災	2	3	0
救急	48	100	130

みなさんからの

寄付 (敬称略)

- 介護老人保健施設整備基金へ
▷ J A 香川県内海地域女性部



リサイクル情報

(2・3月受付分)

【譲ります】

電子レンジ	無償
固定電話 子機なし	無償
マッサージ機 チェア型	有償
南部鉄瓶 新品	有償

【求めます】

畳	無償
CDウォークマン	無償
犬用ゲージ 室内用	無償
小豆島中学校男子制服 夏服、冬服170cm	無償
子供用自転車 男子小学生用	有、無
子供用自転車 女子用補助輪付	有、無

役場では品物を預かっておりません。ご了承ください。

小豆島中学校女子制服160cm、170cm、本棚、自転車小学5、6年生用、電動ミシンはリサイクルできました。ご協力ありがとうございました。

リサイクル用品の情報をお待ちしています。環境衛生課 (☎82-7008)



お買い物は
地元商店を
使いましょう

小豆島を元気に！ 私の提言

No.61

「島で考えよう」のたまたまの「この島」

佐々木 貴宏さん

現住所 池田

「かつて、時間は円環するものとしてとらえられていた。一年を通じて、日本であれば四季を通じて、ぐるりとまわって一周する。春、夏、秋、冬が過ぎて、春からまたくり返す。落ちこんだりもするけれど、定期的にいるりりセットされて、再びスタートを切れる感覚が、どれほど人びとの心を支えてきたことか。だが、今は違う。時間はまっすぐ伸びるもので、同じことがくり返されることなく、スタートもゴールもな

長々と引用した冒頭は、在住三日目の晩に書いたもの、当時の勤務先に提出した課題だ。タイトルは「円環するものこそ」。数日の間で島をまわり、少子高齢化、人口減少、産廃問題など、日本の「島」に見られる典型的な問題の数々をまのあたりにして、ういういしい気持ちでまとめた（今も変わらない）考えのおおもとになる。問題は「時間」とらえ方の変化にあるのだろう。

その後、この考えは、島内の特に第一次産業に従事している方々や、いらつしゃつた方々との会話を重ねてより深まることになる。前年に収穫を終えた作物が翌年また育つということ。代々積み重ねた「時間」というもの。それらが確かにある／あったという事実。また、自らも田んぼや畑を



人の動き

2月11日から3月10日まで

【おめでた】

◎出生(6人)

赤ちゃん	性別	保護者	地区
山口太刀	男	貴大池	田
八倉巻敬	男	健太郎蒲	生
高尾洋斗	男	浩彰蒲	野
丸本風介	男	康介西	村
大澤龍雅	男	裕也	橘
大澤虎雅	男	裕也	橘

【ご結婚】

◎婚姻(5組)

氏名	夫	妻	地区
森上	祐基	有里子	池田
野島	瞳夢	沙弥	池田
岡田	起彦	晶子	安田
伊藤	広志	悠坂	坂手

【おくやみ】

◎死亡(18人)

氏名	歳	届出人	地区
萩 壽夫	86	ステ池	田
吉元 滯	89	和子	池田
久利時夫	81	美津子	池田
澁谷アイ	97	健治蒲	生
八木一利	69	一成室	生
八木秀夫	96	正人	室生
樋口武敏	64	育子蒲	野
吉川正則	82	宏子西	村

町の人口



井上富士男 95 賢一 神懸通
安藤 實 84 研一
立道富将 80 早苗 草壁本町
山下イチエ 88 佳男 安田
原田政則 85 宗幸 橘
鳥居靖司 80 シツ子 馬木
榎木 勝 76 嘉子
山田忠子 102 和正 古江
川田 仁 86 泉香 福田
藤原義喜 62 洋子
※掲載辞退の方は、届出時にお知らせください。

訂正とお詫び

広報しようどしま3月号20ページの「第37回読書感想文最優秀賞決定」内で、正月由栞(安田小4年)とありましたが、正しくは、正月由栞(星城小4年)です。
訂正してお詫びします。



この広報紙は再生紙を使用しています。



オーリーブスは、みんなのバスです。路線バスを利用しましょう。



平成28年度 施政方針 (全文)

「小豆島を21世紀の

日本と世界の「希望の島」に」



(はじめに)

小豆島町が誕生して10年となります。私は、小豆島町になってよかったと実感しています。この10年、課題は山積していましたが、ひとつひとつの課題に向き合い、一歩一歩ではあります、着実に前進することができています。

島がひとつになって取り組むべき課題についても、少しですが、展望が開けようとしているように思います。

今年、小豆島町と小豆島にとって大切な年です。もちろん毎年、どの年も大切なのですが、今年はとりわけ大切な年になるように思います。なぜなら、人口減少をはじめ大きな課題を抱える小豆島が、今年、課題を克服する一歩を記すことができる年になると考えるからです。



小豆島がこれから発展していく基盤になる小豆島中央病院

第一に、小豆島中央病院が4月にオープンします。何もしないでいたら、内海病院も、土庄中央病院も成り立たないようになり、小豆島から二次医療を担う病院がなくなっていたと思います。新しい病院は、小豆島の医療を確保する上で重要なだけでなく、小豆島がこれから発展していく基盤

と世界に発信する、大切な機会になるはずですが、

第四に、病院と高校のオープン、芸術祭の開催などにあわせて、小豆島のバスの運賃、路線などが刷新されます。公共交通の見直しは、小豆島の可能性を引き出してくれるはずです。

私にとって、ふるさとの小豆島に戻り、今年7年目となります。小豆島を元気にしたいとの私の思いは、まだ道半ばです。

先般発表された国勢調査の速報値では、この5年間も、小豆島の人口減少のスピードが変わっておらず、小豆島町は県内の自治体のなかで最も人口減少率が高いものでした。

これを見る限り、小豆島の危機は何も改善されていないともいえます。しかし、ここ数年、移住者、特に若い移住者が多いという、明るい兆しも見えていると思います。

昨年10月に「地方創生」に関連して、将来の人口ビジョンをまとめました。今後とも毎年人口の1%にあたる100人ほどの移住者が続くと仮定すると、20

60年でも、人口は1万人をキープし、何よりも人口構成のバランスが維持され、高齢化が今くらいに抑えられることがわかりました。

人口が減少することにより、さまざまな弊害が生まれますが、人口ビジョンの通り、人口減少のスピードを少し緩和できれば、小豆島の魅力と可能性を守り、磨き、活かしていけるだろうと思います。小豆島のことからは、自分たちのことは自分たちの知恵と力で解決するという強い意思をもって、正しい政策、施策を着実に、地道にやっつけていきたいと思います。可能性に満ちたものだと私は確信しています。

(予算の規模)

28年度予算案の歳入歳出の規模は、104億6千9百万円です。

はじめて100億円を超えました。

前年度に比べ、12億6千3百万円、13.7%の増です。当初予算案の他に、一億総活躍社会の実現と地方創生

の取組みを加速するため、国の補正予算として成立した「地方創生加速化交付金」について、27年度の補正予算に提案するための準備を進めています。

このように予算の規模が大きくなったのは、国の地方財政措置がしつかりしている間、また、小豆島町の財政が安定している間に、将来を見越した政策と施策を実施することが不可欠と考えるからです。懸案である新庁舎関連の整備、苗羽地区に整備する認定こども園の建設事業が行われることも予算が大きくなった要因になっています。

小豆島町の予算の財源のうち、自主財源は3割に過ぎません。7割は国などからの交付税、補助金、町債などです。町債についても、国が手厚く償還財源を交付税で手当てしてくれているからこそ発行が可能になっています。

幸い、28年度も、国は、「地方創生」や市町村合併支援などの観点から、厳しい財政状況にもかかわらず、地方自治体の財政支援を行ってくれます。このように

国の財政支援が手厚い間に、小豆島町として、やっておかなければいけない事業は、積極的に取り組む必要があると考えています。

平成28年度の新規町債発行額は、19億8千7百万円で、28年度末の町債残高は、123億8千2百万円となる見込みです。このうち23億2千2百万円は、内海病院会計の町債が一般会計に移行したものです。町債の発行が前年度に比べ増えるのは、内海病院の改修や認定こども園の建設等によるものです。

プライマリーバランスが8億9千3百万円の赤字となりますが、例外的にやむを得ないものであり、ご理解をいただきたいと思えます。

28年度末の基金残高は、61億1千5百万円を見込んでおり、前年度末に比べ減額となりますが、合併時の残高が34億7千2百万円であったことを考えると、必要な基金残高は確保されています。

財政の健全性を判断する実質公債費比率、将来負担比率についても、国の定める基準を大きく下回る見通

しであることから、健全な財政状況にあると考えています。

（健康づくり）

町民の皆さんが健康であることがまちづくりの基本です。

ひとりひとりが安心して暮らせるためにも大切ですが、町全体が発展するためにも、町全体が健康であることが不可欠です。

町全体が健康であるとは、自然、文化、伝統、暮らし、産業などが守られ、磨かれて、発展することです。そのためには町の財政が健康であることも不可欠です。

町の財政が健康であるためには、国の地方財政支援がこれからも安定したものであることが前提です。私たちの町の予算の自主財源は3割に過ぎません。その意味で、国の財政状況、国の経済などの政策のあり方を、私たちは、常に注視しなければいけません。

その国の財政状況に、医療費や介護費の増加が深刻な影響を与えています。医療費や介護費の増加は、国だけでなく、私たちの町の

財政にとっても実は深刻な課題です。そのことを私たちはきちんと認識したいと思います。

健康であることは、ひとりひとりの暮らしの上でも一番大切なことです。多くの高齢者の皆さんは、できれば地域社会での活躍の場を求めておられると思います。そのため仕組みをつくっていくことが求められています。

例えば、支援が必要な高齢者やこどもたちのお世話、教育や農業などの分野で、高齢者の活躍の場があれば、健康を維持できるし、高齢者パワーが福祉・教育・農業の抱える問題の解決にも貢献するはずで

このように高齢者などが地域社会で活躍できるまちづくりをしたいと思います。

そのことが同時に、医療費や介護費の増加の抑制にもつながっていきます。

小豆島の最大の課題のひとつは、二つの公立病院の医師不足の解消と経営赤字の改善でした。小豆島の人口規模では、二つの病院を一つにし、医師をここに集中し、経営を改善すること

が不可欠です。

幸い、島民の皆さんの合意が得られ、また香川県、香川大学などが全面的に応援していただき、この4月から小豆島中央病院がスタートします。院長になられる佐藤小豆島中央病院企業長のご尽力により必要な医師も確保されました。後は、島民の皆さんがこの病院を利用し、応援して守っていくことです。



高齢者などが地域社会で活躍できるまちづくりを目指します

新しい病院は、小豆島の医療提供の中心であるだけでなく、小豆島全体の「地域包括ケア」を実現する中心になってほしいと思います。「地域包括ケア」とは、高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して暮らしてい

くためのすべての施策を総括するものです。健康づくり、介護サービス、在宅医療、住まい、高齢者が活躍できる場づくりなどすべてを含むものです。

小豆島町、土庄町のそれぞれの福祉サービスだけでなく、小豆島全体としての「地域包括ケア」のあり方を、小豆島中央病院を核にして、考え、実践していくと思っています。来年度予算案には、「地域包括ケア」の実現に必要な医師確保、経営支援など必要な予算を計上しています。

内海病院跡地については、新庁舎として活用するとともに、特別養護老人ホーム、診療所などとして活用していきます。

ひとりひとりが住み慣れた地域で安心して暮らすためには、きめ細かな在宅サービスや自分たちで取り組む健康づくりも大切です。高齢者の配食サービスや軽度の家事支援サービスを充実し、日々の暮らしを支えていきます。オリーブ・ヘルスケアシステムを活かした「はつらつウオーク」、40歳の人を対象にした成人歯

科健診など新しい取り組みを進め、ひとりひとりの健康づくりを進めていきます。

障害者福祉について、小豆島は他の自治体に比べて取組みが遅れています。障害のある子どもたちの教育やケア、暮らしの場を高松市などに頼っていますが、できる限り、住み慣れた小豆島で暮らせるようにしたいと思っています。



「地域包括ケア」のあり方を考え実践していこうと思います

特別支援学校を小豆島につくることや障害者支援の拠点となる施設のあり方について研究をします。坂手の「遊児老館」を活用して、演劇などにより、障害者の可能性を伸ばせる取組みやさまざまな交流事業なども行ってみたいと思います。

（子育て・人づくり）

小豆島の未来を担うのは、今の子どもたちであり、これから生まれてくる子どもたちです。

小豆島は、子育てと人づくり、そして文化の面で、「希望の島」であってほしいと思います。その意味では、小豆島高校野球部が「21世紀枠」出場校に選ばれ、春の全国選抜高校野球大会に初めて出場することは、画期的なことだと思います。

小豆島町出身の大相撲琴勇輝関の活躍は、子どもたちに、夢を持ち、その実現に向けて一生懸命に頑張れば夢が叶うことを教えてくれています。

小豆島町のこれからの教育のあり方については、昨年からの設置された小豆島町総合教育会議を中心にして、教育関係者だけでなく、町民をはじめ、広く内外の皆さんの意見をいただきながら議論し、ひとつひとつの課題を解決していきたいと考えています。

新しい高校のオープンは、来年4月ですが、どんな高校にしていくか、香川県教育委員会とも相談しながら、

準備を進めていきます。島内の生徒はもちろん、県内外からも生徒が集まる、魅力ある高校になってほしいものです。



甲子園初出場を決めた小豆島高校野球部

小豆島高校の跡地については、庁内にプロジェクトチームを設け、教育への活用を含めて、あらゆる可能性を模索し、小豆島の未来のために活かされるようにしたいと考えています。

これからの子どもたちは、コミュニケーション能力を身につけることが不可欠です。小中学校での演劇ワークショップ、瀬戸芸2016を活用したコミュニケーション教育の実践など、文化芸術に触れる機会をたくさん持つてほしいと考えています。

えています。

教育環境の充実に向けて、学校司書1名を新たに採用し、小中学校を巡回しながら、子どもたちの読書の時間を増やしたいと思います。

子育ては、「すくすく子育て」を支援アクションプラン」を実践していきます。プランは、つくることだけでなく、実践し、見直し、よりよい子育てを実現することに意味があります。子育ては、家庭だけでなく、地域全体で子どもたちの成長を見守り、応援していくことが不可欠です。いろいろな取組みが地域で実践されてほしいものです。

来年度は苗幼幼稚園と内海保育所を統合して、苗羽小学校内に新しい認定こども園を建設することになっています。

文化・芸術の振興は、小豆島の魅力のひとつです。小豆島の地域づくりと「地方創生」の基盤となるものです。小豆島に培われてきた文化には素晴らしいものがあります。それらを、正しく評価し、その保護と活用に力を注いでいかなければいけません。

今年は壺井栄50回忌の年です。壺井栄50回忌記念事業として、壺井栄とともに同時代を生きた黒島伝治、壺井繁治の再発見プロジェクトを展開するなど、さまざまな取組みを行いたいと考えています。

(産業づくり)

小豆島の強みは、多様な地場産業があることです。海運と気候の良さを活かし、江戸時代から続く醤油、素麺づくり、戦後の食糧難を逆手にとつてはじめた佃煮、そして健康重視の時代のニーズに応えたオリーブ産業などです。

小豆島は、今、瀬戸内国際芸術祭などにより全国、世界の注目を集め、新しい病院がオープンするなど、元気になるチャンスを得ようとしています。が、何よりも、多様な地場産業をはじめ、そこに住む人々が豊かに暮らせる産業が元気でなければいけません。

オリーブ産業は、順調ですが、食の地場産業は、食生活の多様化、原材料の高騰などにより、苦戦しています。また、地域の商店街

も苦戦しています。観光産業は、小豆島が持っている可能性に比べて、素晴らしい資源を活かしきれないような思いです。

来年度は、こうした小豆島の産業の活性化に向けて、島の内外の有識者の知恵と力も借りて、民間の事業者の皆さんと、活性化策を本格的に検討し、「商工業振興計画」を策定し、実行していかうと考えています。

小豆島町には商工業の振興の条例があります。長い間休眠状態だった商工業振興審議会を開催し、活性化策を検討します。審議会は、町議会の議員、商工会役員、学識経験者など15名で構成されることになっています。

地元の産業関係者だけでなく、小豆島出身の世界で活躍されている企業家をはじめ、さまざまな経験と識見を持つ皆さんの知恵と力を結集します。若く企業家精神にあふれた人材の登場と活躍を期待しています。

具体的な取組みとして、次の10の活性化策を考えています。

地元商店の活性化については、プレミアム商品券を

発行し、地域の消費を拡大するとともに、空き店舗のリノベーション支援、地元商店主催のイベントを支援します。

商工会の活性化については、商工会の一本化による体制強化を応援し、買い物弱者のための「まごの手マーケット」の運営などを引き続き支援します。



弱者のための「まごの手マーケット」

地場産業の活性化については、オリーブナビ1階のインフォメーションを見直し、首都圏での販路拡張のため

の出展補助、JETRO香川と連携した新たな海外販路開拓、地場産業活性化セミナーの開催、地域振興アドバイザーによる企業訪問などを引き続き実施し、充実します。

起業・企業誘致による活性化については、小豆島高校の跡地利用の検討、新規事業者に対する準備資金の補助、専門家による相談窓口である「よろず支援拠点」を開設します。

観光振興については、WiFi利用の拡大、小豆島ふるさと村の体制強化と将来ビジョンの策定、民泊の調査・研究などを進めます。

国際化の進展については、観光施設を含めた観光案内板の多言語化、アイパル香川によるインバウンドの誘致促進、外国語に対応できるボランティアガイドの育成などを行います。

オリーブ産業の推進については、小豆島オリーブ公園の体制強化と将来ビジョンの策定、オリーブトップワンプロジェクトの推進、オリーブを用いた健康長寿の島づくり事業を推進します。

異業種間の連携については、農業者や漁業者の融合による観光メニューの提供、飲食店や宿泊施設での地場産品の提供などを進めます。

人財育成については、若手経営者や社員の実践的な

スキルアップを図るため、島出身の優れた経営者による経営塾の開催、中・高校生を対象に、地場産業の出身教室や職場体験、工場見学、学習に必要となる人材の紹介などを進めます。

情報発信については、港やオリーブナビでの物産展の開催、首都圏アンテナショップの積極的な活用、ホームページ、フェイスブックの展開など、さまざまメディアによる発信を行っていきます。

(農業の再生と復権)

農業をはじめとする一次産業の再生と復権は、「地方創生」の本質的な課題ではないかと思えます。小豆島に限ったことではなく、日本全体の課題です。

一次産業が衰退していることには、さまざまな理由があります。

一つ目は、経済の国際化に伴い、一次産業の国際競争力が弱いとされることがあります。

二つ目に、科学技術の進歩、都市化などにより一次産業の大切さを私たちが軽視してきたことがあります。

三つ目に、一次産業の厳しき、辛さのために、敬遠する人が増えたことがあります。

四つ目に、若者が都市に向かい後継者が得られなくなっています。

一次産業の衰退の結果、国土が荒廃しました。美しい風景が失われました。有害鳥獣による被害が拡大し、魚介類が減りました。こともたちが健やかに育つ環境が失われようとしています。

一次産業とのかかわりで育まれてきた地域の文化や伝統も、このまま一次産業の衰退が続けば、守ることが難しくなっていくでしょう。

どうしたら一次産業の再生と復権が実現できるのでしょうか。国の政策のあり方が大きく関わってきますが、自治体の立場からできることがたくさんあると思います。

高齢化の進展は、医療費や介護費を増大させ、社会保障を持続することが難しくなっています。アクティブな高齢者が一次産業の分野で活躍できるようにすれば、高齢者の生きがい、健康づくりにもなり、一次産

業の再生と復権にもつながります。どうしたらそれが可能になるか真剣に検討し、取り組んでいきたいと思えます。



醤油粕を堆肥に利用したトマト

小豆島の農業にも新しい芽が出てきています。安田の郷での減農薬栽培、醤油粕を堆肥に利用したトマト栽培など、新しい取組みが行われています。オリーブやアスパラガス栽培などに取り組む移住者の皆さんもいます。中山では、棚田の保全と農村歌舞伎の伝統を守ることが一体となって行われています。

28年度の予算では、ため池、畑かんなどの基盤整備、棚田などの農村遺産の保全、有害鳥獣対策、海底堆積ゴミの回収事業など、一次産業を守り、環境を回復して

いくため、多面的な機能の保全と産業としての復権を目指したいと考えています。

（文化・アート総合戦略）

今年、瀬戸内国際芸術祭2016が開催されます。アートは、アートそのものにも魅力がありますが、それ以上にアートは、地域、小豆島の魅力と可能性を私たちに気づかせてくれ、小豆島の魅力と可能性を全国と世界に発信してくれます。

今年の芸術祭では、これまでの醬の郷、坂手港、福田、安田、三都半島、中山だけでなく、池田港、草壁港、田浦、堀越など、小豆島町全域でアートが展開されます。今回の取組みは、「小豆島町未来プロジェクト」と名付けられています。

小豆島町が目指す未来とは、こどもたちが輝き、地域社会で人々が助けあい、豊かで多様な地場産業もある、持続可能な社会の姿です。小豆島の素晴らしい自然、文化、伝統、産業、絆が守られ、磨かれ、世代を超えて引き継がれていく社会です。芸術祭が、そのきっかけになると私は考えて

います。

小豆島には、素晴らしい自然、文化、伝統、産業が残されています。例えば、江戸時代に始まった醤油づくりや石の文化は、日本遺産や世界遺産としての価値があると私は考えています。

今年の8月に、東アジアでは初となる「世界考古学会議」が同志社大学の今出川キャンパスを中心に開催されます。そのオープニングを飾るプレシンポジウム・プレツアーを小豆島で開催し、受け継がれてきた自然、文化、伝統、産業の魅力を世界に向けて発信したいと考えています。

引き続き、専門家、研究者などの協力を得て、小豆島の文化遺産を検証し、整理し、研究し、アピールしていこうと思います。

（交通の復権）

小豆島が元気になり、元気であるためには、交通が極めて重要です。小豆島の発展は、瀬戸内海という海が位置していたことによるものです。

海上交通が弱体化するな

かで、小豆島は今も厳しい環境にあります。幸い「海の復権」をテーマとする瀬戸内国際芸術祭やジャンボフェリーの就航などにより、再び海の魅力と可能性に人々は気づこうとしています。「海の復権」と海上交通を守る取組みを続けていきます。



運賃や路線など公共交通の抜本的な見直しが行われます

島内の交通については、自家用車が普及する一方、公共交通であるバスの運賃が高く、乗客が減るといった悪循環に陥っています。幸い小豆島中央病院の開設、小豆島中央高校の開校を機会に、運賃の大幅値下げ、路線の再編など、公共交通の抜本的な見直しについて、島民の皆さんの合意が得られ、3月20日の瀬

戸芸の開会に合わせて、実行に移されることになっていきます。

大勢の島内外の皆さんに公共バスを利用していただき、通院、通学だけでなく、買い物などの日常の暮らしはもちろん、小豆島の魅力をバスで楽しんでほしいと思います。

交通事故の犠牲者があとを絶ちませんが、公共交通の利用は安全対策のひとつです。

通院、通学の安全を確保し、島の周遊性を高めるための国道整備なども進めていきます。

(自然・環境)

小豆島の魅力は何といつても1000万年の浸食でできた寒霞溪、そして瀬戸内の海など自然・環境にあります。そして私たちの文明が行き詰まっているとすれば、それは自然・環境を大切にしていなくなっているからだと思います。農林水産業の弱体化もこの流れのひとつの結果だと思えます。

どうしたら流れを変えることができるのでしょうか。

地道な取組みをまずは始め、続けるしかありません。寒霞溪や皇子神社社叢など、小豆島の貴重な自然と環境を学び、守り、活用する取組みを推進します。

産官学民の共同による里海・里山再生を研究します。空き地、空き家の活用による地域環境の再生に取り組みます。一般住宅リフォーム助成事業を行います。

(国際交流・移住者)

小豆島が元気になっていく上で、新たな視点、新たな発想、新たな力も不可欠です。国際交流や移住者の皆さんが、小豆島の魅力と可能性を拓いてくれると思います。

島々とのつながりを深め、海の魅力を世界に発信する瀬戸内国際芸術祭、そして「福武ハウス」のアジア・アート・プラットフォーム構想は小豆島の魅力と可能性を高めるでしょう。

昨年12月に、福田地区自治連合会と台湾・桃園市新屋区のコミュニティ組織「新屋社造連盟」が「友好社区協定」を結び、地域と地域、人と人が直接交流し、

互いに理解を深め、自分たちの力で地域を元気にしていく取組みがはじまっています。

移住者の提案と行動から空き家・空き地プロジェクトが始まりました。NPO法人トッティが設立され、空き家バンクサポート、空き地バンクの運営、体験移住の家運営など、移住者支援のさまざまな取組みが行われます。



NPO法人トッティが設立され移住者支援のさまざまな取組みが行われます

(防災対策、人権問題、社会資本整備)

防災対策は、災害への住民の不安を和らげ、日々の暮らしを守っていくためにとても重要な施策です。

南海トラフなどの巨大地震は必ず起こると言われて

います。

漁港・港湾の高潮・津波対策、住まいの耐震改修、避難路の整備など、ハード面での対策に加え、地域防災訓練の実施や災害物資の備蓄などソフト面の充実もを行い、大規模災害への備えを万全にしたいと考えています。

あらゆる人権問題を解決していく上で、同和問題の早期解決や男女共同参画の実現は、とても大切なテーマです。「男女共同参画基本計画」をつくり、各種の講演会や交流事業を実施するなど、人権啓発を強力に進めていきます。

この他、道路・橋梁の改修工事や港の整備、二生公民館の大規模改修事業など、住民生活と係わりの深い社会資本整備も確実に行っていく予定です。

(おわりに)

以上、平成28年度予算案を中心に、平成28年度の施策について、基本的な考え方を申し上げます。

冒頭でも触れましたが、今年、小豆島町が誕生して10周年を迎えます。

「平和」と「文化」と「希望」に満ちあふれた小豆島の実現に向けて、記念式典にとどまらず、「壺井栄・黒島伝治・壺井繁治再発見プロジェクト」や「平和フォーラム」の開催、石倉三郎主演映画「つむぐもの」の上映会など、一年を通して記念事業を展開し、小豆島の魅力を島民とともに高め、一つの物語にして発信していきます。

今年、28年度は、小豆島が大きく飛躍できる年です。時代は大きく変わろうとしています。大切なものを守り、変えていくべきことは、大胆に変えなければなりません。

議員各位、町民の皆さま、島民の皆さまのご理解とご協力を得て、小豆島町長としての責任を果たしていきたいと思えます。

(この施政方針は、平成28年第1回小豆島町議会定例会の開催にあたり、平成28年度予算案並びに関連諸議案のご審議をお願いするに際して、町政運営に対する所信を述べたものです。)